

# ウトナイ湖通信



No.240

2024年5月号



5月のウトナイ湖は、生き物たちの息吹が感じられる季節です。観察路では、センダイムシクイやツツドリなどの夏鳥たちのさえずりが聞こえ、フデリンドウやキジムシロなどの花々が足元を彩ります。

ウトナイ湖は、周囲約 9km、面積約 275ha、平均水深約 0.6m の淡水湖です。鳥類はこれまでに約 270 種が確認され、ガン・カモ・ハクチョウなどの渡り鳥にとって重要な中継地、越冬地となっています。

## 5月のイベント情報

### 春の渡り鳥 DAY 5/6(月・祝)開催



【耳を使って春の野鳥を探しに行こう】

日本野鳥の会のレンジャーやボランティアと一緒に自然観察路を歩きながら自然観察するイベントです。

●開催時間:10:00~12:00 ●定員:20名(小学生以下保護者同伴) ●事前申込制。4/2(火)~5/5(日)まで受付。

【春のウトナイ湖ネイチャーフォトラリー】

春のウトナイ湖をご自身で散策し、お手持ちのスマートフォンなどで、お題の写真を撮影していただく当日参加型のイベントです。参加賞もご用意しています!

●開催時間:9:30~16:30 ●申込:不要。

## お気軽ガイドウォーク in ウトナイ湖

5月 12 日(日) 10:30~11:30 レンジャーや当センターのボランティアが 40 分程、屋外でウトナイ湖の自然を案内します。※荒天時は館内ガイドウォークに変更します。 ●定員:10 名程度 ●対象:どなたでも(小学生以下保護者同伴) ●申込:不要。直接当センターへ

## 救護セミナー マダニに刺されないために

—マダニの種類・生態・病原体—

5月 25日(土) 10:00~12:00

●講師:北海道立衛生研究所感染症部 伊東 拓也 氏、松山 紘之 氏  
●定員:30 名(小学生以下保護者同伴) ●申込:事前申込制。保護センターへ直接連絡。5/1(水)~5/24(金)まで受付。

## 市民ギャラリー

### 「写真展 第20回 勇払海岸」

開催期間:2024年5月1日(水)~5月19日(日)

展示者:笠水上 徹明 氏



◆ウトナイ湖野生鳥獣保護センター◆ TEL.0144-58-2231

〒059-1365 苫小牧市植苗 156-26 / 道の駅となり

開館時間:午前 9 時~午後 5 時 / 入館無料

休館日:毎週月曜日(祝日の場合は翌日)及び年末年始

ラムートくん



~ ウトナイ湖 ~

・国指定鳥獣保護区特別保護地区  
・ラムサール条約湿地  
・東アジア・オーストラリア地域  
・フライウェイ・パートナーシップ

ウトナイ湖野生鳥獣保護センター 検索



当センターでは、国指定ウトナイ湖鳥獣保護区とその周辺(苫小牧市行政区域内)において人為的な原因で保護された傷病鳥獣の救護・リハビリを行っています。その活動の一端をご紹介します。

## オオコノハズク

### 原因：人工物衝突



搬入時の様子  
(くちばし周辺に血液付着)



飛翔リハビリ中の様子

4月 7日



4月 12日



4月 14日

リリース

市内の駅近くで、カラスに襲われていたところを市民が発見し、その後保護センターへ搬入。初診にて、くちばし周辺に血液の付着を確認。人工物等に衝突した際に内臓を損傷し、吐血したものと考えられた。絶対安静で経過観察とした。

経過は良好で、搬入より5日目でリハビリを開始。

食欲、飛翔力もあり、7日目でリリースとなる。

※公式 SNS でも紹介しています。

### オオコノハズク (フクロウ目 フクロウ科)

全長24cm。雌雄同色。全体に灰褐色で、黒や白、褐色の斑があり複雑な模様になっています。北海道では1年を通じ生息する種で、平地から山地の森林でくらしています。目が大きく、虹彩はオレンジ色をしています。主に哺乳類や小鳥類を捕食しますが、カエルやトカゲ、昆虫なども食べます。

## トピックス



### 水辺の渡り鳥ウォッチングで水鳥を観察

主な越冬地である本州から、繁殖地の北を目指す途中でウトナイ湖に飛来した渡り鳥の観察会を行ないました。オオハクチョウやマガンに加えて、参加者に人気が高かったのは色鮮やかなカモの仲間で、ヒドリガモやヨシガモの識別にも挑戦されていました。



### ウトナイ湖で春の生きものを探そう

長い冬を終えて、少しずつ見られるようになった春の生きものを探すイベントを開催しました。大人から子どもまで参加した皆さんは、綺麗な声でさえずるウグイスやアオジなどの夏鳥や開花した植物などを探して、オリジナルの春の図鑑カードに記録しました。



## ボランティアコーナー

当センターのボランティア活動に積極的に参加され、ご自身でも野鳥観察を楽しまれている伊藤さんにインタビューしました

当センターのボランティアに登録をしようと思ったきっかけを教えてください。

【北海道の自然】伊藤 さん

数年前に北海道に戻り住み始めてから自然の豊かさや美しさ、厳しさを実感してきました。以前から野鳥に興味があり、ボランティアに応募しました。

当センターのボランティア活動に参加して、良かったことはありますか？

センターが行っている調査活動（全域水鳥カウント調査、自然情報収集調査）の参加を通してレンジャーさんや先輩ボランティアさんから具体的な情報を伺うことが出来て良かったです。また、センター内で保護されている鳥たちについて担当獣医さんから説明を受けたことで傷病鳥獣保護活動を知ることが出来ました。

野鳥や自然観察の楽しさや魅力があれば教えてください。

参加前に比べて市内の川や公園で見かける野鳥が身近に感じるようになりました。上空をV字形に飛んでいく野鳥の群れを見つけた時は毎回感動しています。ウトナイ湖でオジロワシも双眼鏡で見ることが出来ました。たくさんの野鳥の種類などを見分けることはまだ難しいですがこれからも楽しみたいと思っています。

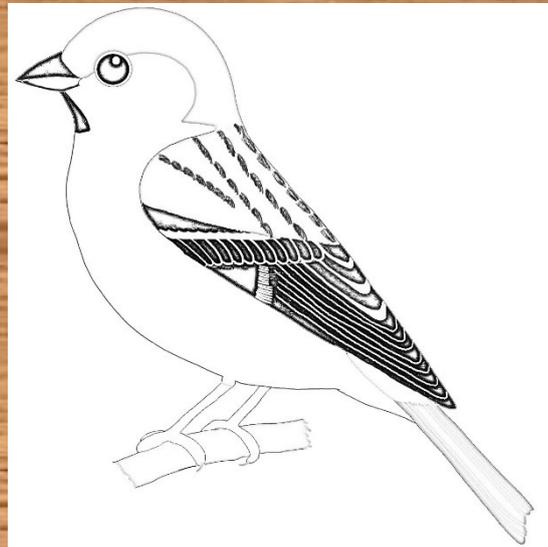


生きもの探イイベントの下見をする伊藤さん

## ウトナイ湖 お楽しみコーナー 【ウトナイ湖・野鳥めぐりえ】

ウトナイ湖に  
春に渡ってくる夏鳥の  
「ニュウナイスズメ」  
に色を入れましょう♪

当センターの周辺で  
見られること  
があります。



公式 SNS には、ほかにもたくさん情報を載せています！



Instagram



facebook



X(旧 Twitter)



# レンジャーのおすすめ自然情報

越冬地から渡ってくる夏鳥も 5 月には多くの種類が観察できるようになります。併せて主に野鳥のオスが出す美しいさえずり(メスへのアピールやなわばりの主張で出す声)を楽しめます。繁殖期の野鳥たちは、とても神経質です。観察の際は、同じ個体を見続けたり、同じ場所に立ち続けることは控えましょう。野鳥が近づいてきたら威嚇の可能性もあるのでその場をそっと離れましょう。



【クロツグミ】

全長 22cm、写真はオス。オスは「キョロン、キョロン、チヨコ、チヨコ」とさえずる。



【オオジシギ】

全長 30cm。上空で「ズビャーク・・・ゴゴゴー(羽音)」とオスがアピールする音が聞こえる。



【キビタキ】

全長 14cm、写真はオス。オスは「ピュリリッ、ホーヒッヒー、ホーヒッヒー、ホー」とさえずる。



【キジムシロ】

2cmほどの黄色い花が咲く。葉は地面に沿うように伸びる。観察路上の足元を探してみましょう。

## ウトナイ湖で自然観察を楽しもう♪

最新自然情報や、自然観察路マップはこちらから



Instagram



facebook



X(旧 Twitter)

### 自然観察路ガイドマップ【春】



#### 春のお薦めポイント

3月の早朝、湖では数万羽のマガンのねぐら立ちが見られます。  
4月中旬から、林の中では次々と渡ってくる夏鳥たちの賑やかなさえずりが聞かれるようになります。  
4月下旬には、はるばるオーストラリアからオオジシギが渡ってきます。  
5月下旬、自然観察路の木道沿いにはズミの白い花が満開になります。